

地震の中の危険



地震の時の「家の中の危険」を正しく知って、
防災について考えましょう。

地震の時の常識？

地震の時、どう行動すればいいのか？

建物の倒壊や火災に対する新しい常識を知りましょう

- 1 家が倒れる！急いで外へ！
- 2 コンロの火を消さない！
- 3 電気ストーブから火事に！

今日はこの3つのお話です



「1 家が倒れる！急いで外へ！」からです

「家が倒れる！急いで外に！」

と思っていないませんか？



住宅の耐震性能

昭和57年以降に建てられた住宅の耐震性能は現在と変わらず、阪神淡路の震災の時も7割以上が無被害や軽微な被害で済んでいます。

逆に、急いで飛び出そうとすると、つまづいて転倒したり、瓦やガラスなどの落下物でケガをする危険があります

自分の家は地震でも壊れないの？

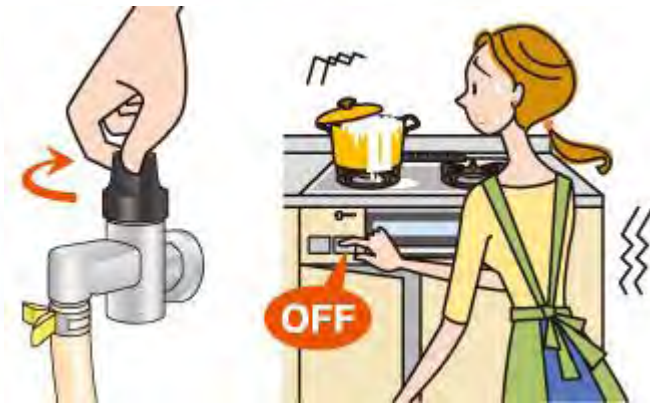
何年に建築？改築したけど耐震は？

自宅の耐震は知っておきましょう

2 コンロの火を消さないと！

地震が起きた場合

最近は！



メーターやコンロが改良され、地震の揺れによる異常で、火が消えるようになっていきます。

まずは、身を守る行動をとること、

コンロの火は揺れが収まってから消しましょう。

ガスメーターの安全機能

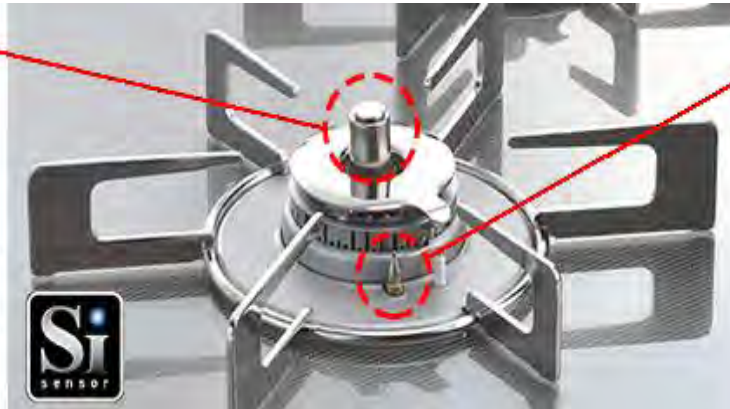
- こんなときは、ガスメーターが感知して自動的にガスをストップします。
 - 大量のガスが流れ出たとき
(ガス管の外れ、損傷)
 - 長時間の使用又は消し忘れた時
 - 震度5相当以上の地震が発生した場合
 - 物がぶつかるなど、メーターに振動やショックが加わったとき
 - 屋外でのガス漏れなど、ガスの圧力が低下した場合



ガスコンロの安全機能

温度センサー

温度センサーは鍋底の温度を常に感知して温度を一定に保ったり、火加減を自動で制御します。異常な温度上昇を検知した場合は速やかに消火します。



炎検知センサー (立ち消え安全装置)

炎検知センサーは煮こぼれや風などで万が一火が消えても、センサーが炎の熱で立ち消えを感知して自動的にガスを止めます。

2008年(平成20年)に国が定めた安全基準によってガスコンロ全てのバーナーに設置が義務付けられるようになりました。

メーカーによるとコンロは、10年が交換時期となっているようです。使用頻度などにより違うと思われませんが、点検を試してみても良いかもしれません。

コンロが古くてそんな機能は付いていないという方は、買い替えたり、**IH(電気)コンロ**に替えたり、より安全な方法を考えましょう。

3 電気ストーブから火事に！

ストーブだけではありません 全ての電化製品に注意
復旧したときに火災に！「通電火災」に注意

通電火災とは、停電から復旧したときに

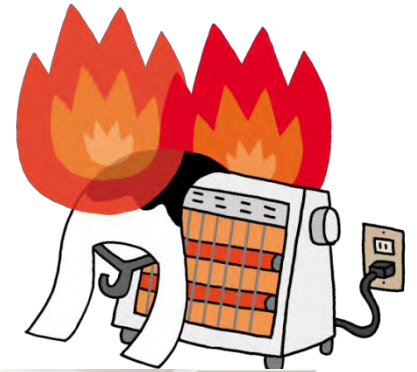
① ヒーター、ストーブ等の周辺にあった

可燃物が燃える。

② コードが破損していて、ショートする。

③ 電気製品に水がかかっている

内部でショートする。



などの危険が考えられます。ではどうすれば防ぐことが出来るでしょう

避難するときや、家の中が片付くまで



とりあえず、
ブレーカーは
「OFF」にする！

器具や配線の安全が確認できれば

ON

でも夜だと明かりが無いと怖いですね

停電に備えて準備するもの

懐中電灯や携帯の充電の準備はできていますか。

ろうそくや焚火は、余震や不注意で**火災**の原因になるので、使用は避けましょう。



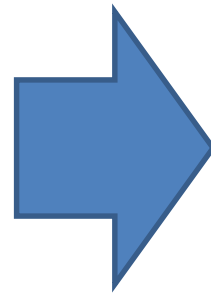
帰ってすぐに確認してみましょう

- 家の耐震は？
- ガスコンロの地震対策はできている？
- 使っていない電気製品はコンセントを抜いてある？
- 懐中電灯の交換用電池は買ってある？



家具の固定！できていますか？

予防のためのグッズを取り付け、防げる被害もあります



色々なものが、100円ショップ、ホームセンター、ネットショッピングなどで購入できます。

情報の収集は自分の命を守ります

災害ハザードマップ

河内長野市公式LINEアカウント



河内長野市のLINEを登録しておくことで、災害のときにも、平時にも河内長野市からのお知らせが届きます。



情報の収集は自分の命を守ります

- 河内長野市の災害情報は、河内長野市が発信しています。



警報・注意報

雨量・水位

避難情報

災害時は、停電する可能性もあります。さまざまな手段で情報収集できるように、準備しておきましょう。



テレビ



スマホ



インターネット



防災行政無線

